

でもはない



令和4年5月臨時会(第2回) 令和4年6月定例会(第3回)



4

| ○5月臨時会、 | 6月定例会のあらまし、 | 議決結果•• | • | • | • • | • | • | • | • | P 2 | \sim P | 3 |
|---------|-------------|--------|---|---|-----|---|---|---|---|-----|----------|---|
|---------|-------------|--------|---|---|-----|---|---|---|---|-----|----------|---|

○一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4~P9

○各常任委員会の報告・・・・・・・・・・・・・P10~P11

○シリーズ「高原での暮らしはどげんじゃひか?」・・・・・・P12

※議会傍聴をしてみませんか。

次の議会定例会は、9月7日開会予定です。 傍聴などについてのお問合わせは、議会事務 局にお気軽にお尋ねください。

電話 0984-42-5138 (直通)

5月臨時会のあらまし 第2回 臨時会(令和4年5月27日)

第2回臨時会は、5月27日の1日間で開催され、専決処分に係る条例改正の承認 2件、補正予算の承認3件、条例4件、補正予算1件、物品購入契約1件が提案され 審議しました。

議案の概要

議案第36号 物品購入契約について

○高原小中学校電子黒板購入事業・・・・・・ ・・・831万8千2百円

ICT教育の推進を図るため、大型の電子黒板の物品 購入契約を締結するために上程 されたものです。購入台数は、 高原小学校に13台、高原中学 校に6台の合計19台です。



承認第7号 令和3年度高原町一般会計補正予算 (第23号)

○新型コロナウイルス感染症対策事業における休業 要請等対策など4事業について繰越明許費補正 ・・・・・・・・・・・1, 612万円



- ○分収金の学校基金への積立金・・・・・・・ 1. 901万9千円
- ○高原町公共施設等整備基金への積立金・・・・・・
- ○高原町企業立地奨励金等交付基金への積立金・・・ ・・3、155万1千円

議案第33・34・35号 一般職の職員、特別職の職員、議会議員の期末手当減額に関する条 例の改正

○ (職員) 0.15月分の引き下げ (特別職・議員) 0.1月分の引き下げ

議案第37号 令和4年度高原町一般会計補正予算(第2号)

○低所得の子育で世帯生活支援特別給付金給付事業・・・・・・・・・455万円5千円

令和4年 第2回臨時会議決結果

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 | ① 陣 圭介 | ②反田吉已 | 茂 | ④中村昇 | ⑤温水宜昭 | 卓丨 | ⑦末永 充 | 8人左廣登 | 10温谷文雄 |
|-------------|--|------|--------------|-------|---|---------------------------------|-------|----|-------|-------------|--------|
| 承 認 第5号 | 専決処分について(専決第6号) 高原町税条例等の一部を改正する条例 | 承認 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | $\supset C$ | |
| 承 認 第6号 | 専決処分について(専決第7号) 国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | 承認 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | $\supset C$ | |
| 承 認 第7号 | 専決処分について(専決第8号) 令和3年度高原町一般会計補正予算(第23号) | 承認 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | $\supset C$ | |
| 承 認 第8号 | 専決処分について(専決第9号) 令和3年度高原町病院事業会計補正予算(第4号) | 承認 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 承 認 第9号 | 専決処分について(専決第10号) 令和4年度高原町一般会計補正予算(第1号) | 承認 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 議 第32号 | 学校基金の設置・管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |) C | |
| 議 案 第33号 | 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 |) C | |
| 議案第34号 | 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |) C |) – |
| 議 案 第35号 | 議会の議員の議員報酬・費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | O | |
| 議 案 第36号 | 物品購入契約について | 可決 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | O | |
| 議 案 第37号 | 令和4年度高原町一般会計補正予算(第2号) | 可決 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |) C |) – |

「○」:賛成、「●」:反対、「除」:除斥、「棄」:棄権、「欠」:欠席

6月定例会のあらまし 第3回 定例会(令和4年6月15日~6月17日)

令和4年6月定例会は、6月15日から6月17日までの3日間の日程で開催され、報告3件、条 例改正1件、補正予算3件の合計7件を審議しました。国民健康保険税条例の一部改正については、 令和4年度から法律の改正により未就学児の均等割額が1/2に減額になり、法令分で減額になった 残りを高原町が減免するものです。

議案の概要

議案第39号·41号 令和4年度高原町一般会計補正予算(第3号·第4号)

歳入歳出1億9,159万1千円(追加) 総額60億8,350万8千円

議案第39号 令和4年度高原町一般会計補正予算(第3号)

- ○高原病院への新型コロナウイルス感染症対策事業・・・・・・・・・・・・500万円 新型コロナウイルス感染症に係る病院内における感染対策や、発熱外来対応に要する経費。
- ○施設園芸省エネルギー化促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・400万円 新型コロナウイルス感染症拡大や国際情勢の影響により、原油価格や物価が高騰する中、施設園芸において 省エネルギー化に必要な、資材等導入への支援。
- ○繁殖農家導入支援緊急対策事業補助金・・・・ 子牛価格も下落している状況から繁殖素牛導入費用の一部を助成する経費。 1頭当たり、町とJAこばやしがそれぞれ2万5千円ずつ補助。
- ○県産農畜水産物学校給食提供推進事業・・・99万2千円 学校給食に県産品牛肉を提供する経費。
- ○たかはる夏まつり補助金・・・・・・・150万円 新型コロナウイルス感染症感染対策への支援。
- ○観光資源を活用した稼げる看板商品創出事業・700万円 観光特産品開発の実証に要する経費。
- ○小中学校の新型コロナウイルス感染症対策事業・・・・・・・・・・・・566万3千円 学校用タブレット端末を自宅でも活用できるように、持ち帰る際に破損防止するためのタブレットケース購 入費用や自宅でのインターネット接続時のセキュリティ対策費用。
- ○一般コミュニティー助成事業・・・・・・ 上後川内公民館、川平公民館にそれぞれ助成。
- ○保健体育総務費・・・・・・・・・・・ スポーツ各競技や体育施設等の環境整備費用。

議案第41号 令和4年度高原町一般会計補正予算(第4号)

○認定こども園の施設整備交付金事業・・・・・1億4,363万8千円 町内の認定こども園の園舎建設等に係る費用の一部を補助する経費。

報告第2号 令和3年度高原町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

○国の補助事業の交付決定時期の遅れや、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、年度内 完了が困難となった事業について繰り越すもの。全17事業合計・・・・2億9,915万1,374円

令和4年 第3回定例会議決結果

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 | ①陣 圭介 | ②反田吉已 | ③松元茂春 | 4中村昇 | ⑤温水宜昭 | 卓丨 | ⑦末永 充 | | 10温谷文雄 |
|-------------|-----------------------------------|------|-------|-------|-------|---------------------------------|-------|----|-------|-------|--------|
| 報告第2号 | 令和3年度高原町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について | | _ | | - | - | - | - | - - | - - | - - |
| 報 告第3号 | 令和3年度奥霧島地域商社ツナガルたかはる株式会社事業計画について | _ | _ | | - | - | - | - | - - | - - | - |
| 議 案 第38号 | 国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | 可決 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | C | |
| 議 案 第39号 | 令和4年度高原町一般会計補正予算(第3号) | 可決 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 議 案 第40号 | 令和4年度高原町病院事業会計補正予算(第1号) | 可決 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 報告第4号 | グレーチング破損事故による和解及び損害賠償の額を定めたことについて | | _ | _ | _ | - | - | - | _[- | -[- | |
| 議 案 第41号 | 令和4年度高原町一般会計補正予算(第4号) | 可決 | 0 | Ö | Ö | Ö | 0 | 0 | 0 | C |) – |

牛肉を使った給食

問&答

般 問

凹丁 D 考え を 周 5

答

4月に説明会を開催、

広報誌に2回掲載、

新聞

でも取り上げて頂いた。

更に広報誌等で周知し、



けいすけ **圭介議員**

ている。 的に判断すべき時期にき

について ○運動公園の管理・活用

離すことがある。施設全 問 べきでは 設の管理を行政から切り ている。指定管理者制度 管理者が多方面に分かれ 体を指定管理の対象とす の目的に、特定の公共施 ひとつの公園の中で

移住定住施策が展開され

ていないか。恩恵を受け

ることだけを目的とした

問

前向きな姿勢を見せ

○移住定住施策について

要な対応を行う。 答 管理者と協議を行う等必 財政面も勘案し指定

ということから考えてい

くべき。地方回帰等の動

きもあり、

それらを総合

助金を出すことがどうか

答

移住定住する方に補

受けられる施策の検討を。

くの住民が公平に恩恵を

る世帯は限定的。より多

いる箇所があるとのこと 問 トイレに施錠されて

問

健康遊具、

児童遊具

の活用促進は

だが。

答 めている してきたことから、常時 開放する方向で協議を進 用する頻度や人数も増加 日常的にトイレを使



▲高原町総合運動公園

○申請手続の簡略化につ

省略できるのでは たり納税証明書の添付は 補助金等の申請にあ

受けない人よりも高い納 ける方には、サービスを たい。現在の対応が妥当。 税意識を持っていただき サービスの提供を受

○工事の優先度について

の前提として高い公共性 陳情につき、予算化

> 答 そのような認識で進 は低くなると考えるが。 肢がある場合等は優先度 少数であったり他の選択 が要求される。受益者が めている。

○遠隔授業について

に役立てたい。

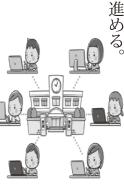
で紹介し町民の健康増進

進を図る等あらゆる機会

健康教室での利活用の促

では。 い児童生徒の学びの機会 問 実施を早急に検討すべき 確保のため、遠隔授業の 疾病等で登校できな

答 末を活用した自宅学習を 環境調査を実施している。 全家庭に通信環境を整備 し、まずはタブレット端 現在、 各家庭の通信





答 るが高原町の出生率は。 出生率は、 問 ○出生率について 高原町は 宮崎県の令和3年の 1・64であ 1 7 1

問 対する背景要因は、 高原町での少子化に

である。

ことが大きな要因である。 未婚化や晩婚化が進んだ 出生率の低下があり、

行財政改革推進本部

どう考えるか。

少子化対策について、

置したい。 を目途に新たな組織を設 会議で令和5年4月1日 令和2年の平均初婚

みつる 充議員 年齢は、 ているか。 り婚姻の推移はどうなっ 女性29・1歳となってお 男性30・2歳、

は、

か。

性が61・6%であり晩婚 %である。 性の有配偶率が令和2年 化である。 39歳の範囲では、 20歳から2歳の範囲で男 有配偶率が6・76%、 93 % 国勢調査によると、 女性で20・87 一方30歳から 男性の 女

ると思う。

問 の場の創出の考えは。 対策としての出会い 2市1町にて合同で

婚活イベント等を実施し、 県事業等の活用を図って

ついて ○結婚新生活支援事業に

問 る必要があるのではない への引越費用を事業化す 新居の住居費、 新居

> 検討したい。 事業の可否につい 7

あるのではないか。 を更に進めていく必要が はない。住みやすいまち んで頂ける住居支援制度 結婚して高原町に住 現状では、 必要であ

う対応するのか。 問 ○自主防災組織について ・強化を図るために、 自主防災組織の育成

して行う防災訓練等に対 して、支援を行う。 地区居住者等が共同

ついて ○ボランティアの活動に

ためにどう対処するのか。 動が円滑におこなわれる 災害ボランティア活 災害ボランティアセ

答

危険性は、

周知して

いく。 拠点の環境整備も務めて ンティアコーディネータ 整を円滑におこなうボラ ンターと連携し、 ーの養成も推進し、 需給調 活動

で反射ポールを設置して

いるが撤去は出来ないの

対応していく。

取水している様み

について ○防災計画

路面より露出している防火水槽

霧島狭野原地区

策はどのように明記され 問 ているのか。 車中避難に対する対

状態の把握に努める。 被災者については、 滞在することが出来ない にて止むを得ず避難所に 在宅避難や車中泊等 健康

について ○防火水槽・防火用水路

うするか。 のような危険性のある防 防火水槽に、 問 火水槽に対する対処をど つかる危険性がある。こ 地上に露出している 車両等がぶ

消防本部の助言を頂き対 要があるのではないか。 問 応する。 危険性が伴う検討する必 して水を取水する地区は、 地域の実情に応じて 河川から防火用水と

るのではないか。 1 基準を設置する必要があ ż 住宅開発地域等にお 消防水利に関する

適宜設置していきた

所得家庭の実態の把握と



検討をする。

一部专家

に応じて補助事業創設の

まえはら **前原**

○民生委員のなり手不足

について

ガソリン代の支給を。

○要望の優先順位につい

区長会の要望

答 調査検討する。

位は。

問 7

道路拡張等の優先順

答

通学路を最優先とし、

○中学校の部活動につい

ながら協議をしていく。 国県の動向を注視し

環境に著しく影響を与え

危険性の高いもの、

生活

て

るものを優先している。

○子供の貧困について

問 コロナ禍における低

答

条例の制定や、

必要

問

今後の対策は。

○空き家対策について

必要な施策は。

ていく。 実態把握に努めている。 関係機関と連携し対応し 就学援助制度により

態の把握と対策は。 ヤングケアラーの実

める。 早期発見、 いない。継続的に調査し、 本町では確認されて 早期対応に努

の把握、 問 生理の貧困といじめ 対策は。

答 秘義務の徹底を実施して よりよい配布の検討と守 いじめは認知していない。 生理用品に起因する

地域移行の考えは。

町の活性化

○若者議会について

にしたい。 いを町政に反映したいと う機会を設けたい。その がるアイデア等を話し合 答 問 の機運を高めていくよう 上で若者の間で意見や思 若者が町の発展に繋 取り組む考えは。

○協同労働について

だったが。 問 持続可能で活力ある 昨年は前向きな答弁

要がある。

例の構築を進める。 きっかけづくりと成功事 地域社会の実現に寄与す る形になるよう、 まず、

○農地集積について

る支援をしていく。

画策定の考え方は。 問 し、農地バンク等を活用 令和6年度末までに策定 農業委員会と連携、 集積加速に向けた計

> 手の確保、 ていく。 育成を推進し

本町の集積率は。

答

令和2年度実績で55

4%

クの推進を図っていく必 放棄地の増加の懸念があ 課題と展望は。 問 法に基づき農地バン 農業者の減少や耕作 農地バンクの今後の

担い手の確保、 聞きながら、成長産業化 けた支援体制は。 及び農業所得の増に繋が 農業委員会の意見を 地域計画の策定や、 育成に向



▲耕作放棄地

の拡幅工事が必要では

かけを続けている。

確保の面からも駅前通り 多く、また、登下校安全

答

公川 Ī



_{たくじ} 卓志議員

今すぐには難しい。

の場所が多くあるため

答

現在、

町道等整備中

老朽化している家屋

ふくざわ 福澤

撤去に対し、解体費用の 補助はできないか。

検討する。

トイレブースが必要では 登山口に、 高千穂峰(天孫降臨 国・県に対して働き 駐車場や簡易

問

駅前通りは人通りも

)観光行政について

念品等が購入できるよう にならないか。 携帯トイレ・登山記

登山基地として整備する 考えがある。 今後、皇子原公園を

▲歩道のない駅前通り

○防災行政について

問 災害時の通信手段確

> 来ないか。 ュア無線家らと協定が出 保の面から、 本町アマチ

研究して るが、調査 有効性は理解してい



く。

うか。 災組織を機能させたらど る町民と連携して自主防 問 防災士の資格を有す

などしながら連携してい 研修の機会を設ける

○福祉行政について

庭の児童扶養手当受給者 生計を共にする事実婚家 虐待防止の観点から、

はいるか。

った。 答現時点ではないが、 令和3年に通報が2件あ

問 対応は。

答 児童委員の署名をもらっ 事実婚有無に関する申立 書に記載して、民生委員 確認をし、必要な場合は てから提出してもらう。 職員が対象者に事実

では。 答 授業の充実を含めあ いために学力向上が必要 新たな貧困を生まな

努める。 らゆる手段で学力向上に

等の報告はない。 答 不登校児童が小学校 等の報告は。 問不登校児童及び虐待 1名、中学校6名、 虐待

○社会教育行政について

問 本町の成人式は。

> 答 要では。 す方々にアプローチが必 「二十歳を祝う会」とする。 20歳を対象として 看護師や医師を目指

答 今後はUターンを促 していく。

○総合政策行政について

ウクライナ避難民の

ができていない。 受け入れできる体制 受け入れは。

してはどうか。 ている町営住宅等を売却 町所有地や老朽化し

検討する。

問 再検討の結果は。 特別表彰につい ての

め1年に1回とするなど していく。 若い世代の表彰を含

答 進住宅建設が必要では その考えはない。 未建設の広原定住促

答 モデルナ社30回分が

4億円の補助があった。



ー _{よしあき} 宜昭議員

廃棄となった。

ワクチン接種の課題

_{ぬくみず} 温水

と4回目に向けては。

新型コロナウイルス感

染症対策について コロナ支援事業の効

果は。 答 問 定額給付金事業 9

内を実施していく。

後5ヶ月を目途に接種案

目に向けては、3回接種

計画している。又、4回

中旬頃に夜間集団接種を

若年層へ向けて7月

億2千万円)での商品等

の購入や臨時交付金(6

な事業効果が得られた。 億円)の活用により大き

問 コロナワクチン接種

事業費用は。

答 である。 延べ1億975万円

を実施した。

問 コロナワクチン廃棄

の有無は

答 け入れた。又、感染症疑 数158日)、外来患者 患者の受け入れ状況は。 いのある528名の診療 17名、救急患者30名を受 入院患者23名(延日 高原病院でのコロナ

コロナ補助金の受け

入れ状況は。 令和2年、 3年で約

> 答 乗り越えて来た。 合い、一体感が生まれ、 られたが、互いに励まし 少なからず誹謗中傷は見 時の医療従事者の対応は 問 コロナ患者受け入れ 感染への恐怖心や、

今後に向けては、

問

人、農地関連法

へ の

取り組みは。

答 尽力していく。 る為、 ことを職員一丸となって 地域住民の生命を守 町立病院でできる



▲コロナ対応にあたる医療従事者

答 水田面積859ha。

問

農地の利用状況は。

○農業振興について

固定資産税額は16, 畑面積1, 休農地122h。 3 2 1 農地の hạ 遊 7

農業の課題は。

62千円である。

減少が見られ、 の増加が懸念される。 農家戸数や担い手の 遊休農地

答 等の維持管理は 問 農道や農業用排

理となるが、様々な制度 相談してほしい。 な場所等については町 ている地区もある。危険 を利用して、 営農組合等で管理し 基本的には受益者管 地域や改良

▲区画された農地

答 作成していく。 がら1筆毎の目標地図を する農地を地域で話し合 守るべき農地と保全 情報の共有を図りな

の継続に向けては。 中山間交付金事業等

りながら、 なげられるよう取り組ん 国・県との連携を図 事業継続へつ

研究する

本町でも取り組みを。

他自治体など調査

の助成をおこなっている。

なると独自で補聴器購入

制効果や医療費の削減に

体の中では、

認知症の抑

なっている。

全国の自治

っていることが明らかに

低下の要因のひとつにな

究でも、

難聴が認知機能

問

厚生労働省の委託研



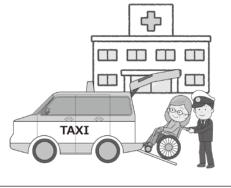
のぼる 昇議員

付金の見直しについて)水田活用直接支払い交

見解は。 な影響を及ぼす。 円に減額するもの。交付 から播種しない年は1万 アールあたり3万5千円 を除外、 22年度以降の5年間で 金削減は農家経営に大き 度も水はりしない農地 今回の見直しは20 多年草牧草は10 町長の

足などが危惧される。国 復田の集中による用水不 家の粗飼料確保への支障、 作放棄地の増加、 いよう要望する。 に農業経営に影響が出な 条件不利農地での耕 畜産農

種に介護タクシーを ○新型コロナワクチン接



クシー利用助成を行っ 問 要では。 の利用を認めることが必 できない。 移動が困難な方には利用 いるが、車いすでないと 町では交通弱者にタ 介護タクシー

答 契約手続きの準備を進め 福祉タクシー事業所との 小林市やえびの市の

問 ○観光行政について

り、 どうか。 展示するための施設であ に理解できるよう解説、 物等を公園利用者が容易 公園の地形、 登山口に設置したら ビジターセンターは 地質、 動植

調査・研究を行う。



る。 列車の吉都線乗り入れは 問 てもらう絶好の機会にな 本町の観光の魅力を知っ 町の予定は。 JR九州「ななつ星 また雑

> では。 草などの環境整備が必要

答 環境整備にあたる。 ンティア団体と連携し、 しに取り組む。 を図りながら、 民間団体などと連携 またボラ おもてな



総務経済常任委員会の所管事務調査

時…令和4年6月1日(水) 10:00~11:10 1 日

場 所…庁舎3階議場

- 2 調査内容…区長会との意見交換会
- 3 参加者…31名(区長会18名、議員5名 関係課職員5名、議会事務局3名)
- 4 調査事項について主な意見

① 行政班の加入状況と課題

- ・高齢者のひとり暮らしや施設入所等(地域活動等に参加できない等の理由)により班、 区への加入辞退者が増えている。
- ・地区外移住者や公営住宅等入居者の班、区加入促進に苦慮している。

② 地域環境の現状と課題

- ・地区毎の環境整備に向けて共同作業を定期的に実施しているが、高齢化による活動人口 減で維持管理に苦慮している。
- ・区長自ら環境整備や地域力を活かした活動に取り組んでいる。
- ・空き家や荒廃地が目立ってきている。
- ・防犯灯の電気代等区の経費維持管理に苦慮している。

③ 行政や議会への要望・提言など

- ・班、区加入促進へ向けての公的支援(施策との整合性)
- ・環境整備の維持管理へ向けた支援(重機等借用料の一部助成や雑草等の処分場確保、道 路維持補修)
- ・緑化美化活動への補助金確保や公益負担金(緑の基金、赤い羽根、日赤社費、社協会費 歳末助け合い、敬老会)の軽減策
- ・空き家対策(所有者不明の調査開示や相続に係る経費軽減策等)
- ・高原小・中学校統合後の過疎対策
- ·公的各種委員(民生·児童委員、人権擁護委員等)確保対策
- ・地域の要望や陳情に対する行政対応の透明化
- ・議会運営のあり方への創意工夫と取り組む姿勢の強化

5 考 察

区長会より様々な要因により、行政班加入の減少が見られ、自治会活動の維持へ向け て懸念の声が多く聞かれた。

他方、区独自の地力を活かした活動により地域力向上に取り組まれていた。

また、行政に対する地域の抱える課題等の要望や議会に対する御意見等も頂き、委員会 としてこれらの声を真摯に受け止め、今後の活動に取り組んでいきたい。

今回の意見交換会を通して区長会の区に対する熱い想いと将来を見据えた憂いを強く 感じた。

このようなことから、今後、委員会として区長会との連携を更に深めながら町当局へ の提言等を通して「町民の暮らしやすい街づくり」の一助となれるよう努めていきたい。





文教厚生常任委員会の所管事務調査

- 時…令和4年5月24日(火)午後1時30分~午後2時40分 1 日 所…庁舎3階議場
- 調査内容…発達障がいに関する調査及び関係課との意見交換
- 参加者…14名(議員5名、関係課職員7名、議会事務局2名)
- 4 調査事項について主な意見

現状と対応について

- ①町内には、就学児に対し集団生活への適応に向けた支援等を行う「放課後デイサービス」
- ②発達障がいの報告を受けている園児、児童、生徒はいないが、特別支援学級で支援を受け ている。
- ③発達障がい者の特徴として、(1)その場の空気を読むことが苦手なため、雰囲気を壊す言動 をすること。(2)人間関係を上手に築くことが困難なため、他の児童生徒と衝突すること。 (3)こだわりが強いために柔軟性に欠け、共同作業や話合い活動を行うことが難しいこと。 (4)音や光に鈍感であったり、逆に敏感であったりするために学習に集中出ないこと。等が 考えられ、他の児童生徒にも影響を与えることがある。
- ④障がいに応じ個別指導を中心とした通級指導教室を設置している。
- ⑤学校の教育は、インクルーシブ教育を基本として進めている。しかし、特別支援委員会で 望ましいと判断された場合、保護者の同意の上、特別支援学級で教育を進めている。 ※インクルーシブ教育とは、障がいのある子どもたちや障がいのない子どもたちが一緒に 学習をすること。
- ⑥保護者の同意がない場合、特別支援学級に入れないことがあり、早期の段階から障がいに ついてご理解を頂くこと、また、学校と保護者との関係が大事であり、今後の課題である。
- ⑦保護者のご理解を深める取組として、就学前検診の際にも保護者へ説明を行っている。
- ⑧特別支援教育コーディネーターは、就学時健康診断に関わり、園児の観察等を行い、情報 収集を行ったり、各小学校で保育所や幼稚園との引継ぎ会を行ったりしている。
- ⑨相談支援等の対応職員として、教育委員会に教育調整監(常勤)2名、臨床心理士を毎週 金曜日に1名配置している。
- ⑩教育委員会には、就学前の教育相談を実施する組織として、「就学前教育相談チーム」が
- ⑪各園や学校は、特別支援教育の研修やケース会議等を通じて、具体的方策を講じ、特別支 援教育支援委員等との連携を中心に支援、相談できる体制整え対応している。

今後について

- ①令和4年度から、4歳・5歳児(年中児)を対象にした町独自の5歳児検診を開催予定。
- ②要支援事業及び要保護児童等への支援業務を図る「子ども家庭総合支援拠点」を視野に、 発達障がい児童等の早期発見及び早期対応に向けた連携を図る。

5 考 壑

発達障がいに関する福祉・教育分野の取組や、園 児、児童の実態把握をおこなった。発達障がいに対 する正しい理解と認識が深まり、福祉、医療、保健、 教育分野での関係機関が連携を図り施策に取組んで いることを感じた。

令和4年度より4・5歳児健診の導入により発達 障がいへの取組みがされることを含め、発達障がい の子供たちが幸せな学校生活が送れることを望む。



ようこそ高原町へ シリーズ®

高原での暮らしは、どげんじゃひか?

礼 史さんファミリー せきじま ひろふみ

○移住のきっかけを教えてください。

広原の「田舎のぱんや」さんが継業者 を募集しているとの情報を見て、町に根 付くお店を残しつつ自分のやりたいお店 をやってみたいと一念発起し家族で移住 しました。

現在広原にて「VOTE(ヴォート)」 というカフェを営んでいます。

○実際に高原町に住んでみていかがです か。

千葉に比べて買い物など不便かなと思 っていましたが、特に不便を感じたこと はありません。また、役場や町の方がと ても親切で、温かい印象です。



大自然がすぐそばにあることです。車での移動中、目に入る山々が日々違っていて癒されます。

VOTE

○高原町への本音を教えて。

前に住んでいた住宅地に比べ公園が少ないので、子供たちを安心して外遊びさせる場所が少ないのかなと思いま す。親がついていれば山や川といったところへ遊びにいけるのかもしれませんが、現在住む場所にもよるのかもし れませんが、日常使いできる公園が近くにあるといいなと思います。

○高原町に来て驚いたことは。

私は小林出身で、祖父が高原町に住んでいたので小さい頃から知っているので特に驚くことはありません。です が、東京出身の夫、千葉育ちの子供たちは西諸弁に驚いておりました。また、温泉が近くにあることにも驚いてお り、子供たちとよく通っています。

○高原町のお気に入りの場所は。

最近は祓川湧水園での蛍鑑賞がお気に入りです。夕暮れ、子供たちと蛍を待ちながら笹舟を作ったりして過ごし ています。

○これからの移住者へのアドバイスは。

温泉宿や民宿もあるので少し長めに宿泊してプチ移住をしてみるといいのかもしれません。色々な方が移住者と して集まり、たくさんのことにチャレンジし発展できる町になればいいなと思います。

今後ともよろしくお願いいたしま 届けていただければと思います。 らのご意見・ご要望をぜひ議会に きたいと考えます。また、 を図る為、最大限の努力をしてい 原町を担う子供たちの教育の充実 について、特別委員会を設置し 討しているところです。 現在議会では小中学校の統合等 将来の高 皆様か

反田

ぼしています。日本の食料自給率 私たちの生活にも大きな影響を及 から指摘されていましたが、この は先進国の中でも低いことが以前 はじめとした値上げラッシュなど、 端を発した世界的な情勢不安は について改めて考えざるを得ませ ような状況になると、その危うさ 料費、 ロシアによるウクライナ侵攻に 資材費の高騰、 食料品を

いでしょうか。 ていらっしゃる方も多いのではな ;年までとは違う夏の計画を立て 生活規制も緩和されつつあり、 ます。コロナ感染症対策のため 日に日に暑さも厳しさを増して

らねがいします